

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		文化財保護事業	担当課	生涯学習課
総合計画	政策	ひと	計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	法定事務
	基本事業（取組）	歴史・文化資産の継承	市民協働	その他
予算科目コード		01-100402-02 単独	根拠法令・条例等	文化財保護法 守谷市文化財保護条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。 指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。 埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。 地域に誇る歴史遺産として、守谷城址の魅力を周知し、次代を担う子ども達、若い世代に歴史を知る機会を提供する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内に存在する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていくとともに、文化財愛護や郷土理解の心を育む。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域の貴重な文化財を後世に継承し、活用する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
市民（特に若者）に郷土の歴史・文化を広める必要がある。 市指定文化財及び史跡を保護・保存していく必要がある。	随時 試掘・発掘調査、指定文化財説明板の修繕・更新 5月 文化財保護審議会 7月 文化財保護審議員自主研修会（コロナのため中止） 7月 県指導員による訪問指導 7月～10月 廿三夜尊エノキ樹勢回復業務（全2回） 11月 文化財保護強化週間にちなんだイベント開催 11月 審議会委員への事業（中間）報告 3月 文化財保護審議会 通年 文化財台帳の管理 デジタルアーカイブコンテンツの選定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
デジタルアーカイブシステムにより歴史・文化財を知る機会を提供するほか、文化財巡りや郷土検定の実施など、子どもから大人まで楽しみながら郷土の歴史・文化に関心を持てるような取組を行う。 指定文化財の巡視や県指導員による訪問指導により保護・保存状況を把握する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	既存のデジタルアーカイブをリニューアルして、歴史・文化資料に加えて、文化財を公開できるようなシステム改修を行う。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度 of 取組（評価、課題への対応）
市指定文化財の中で、八坂神社の祇園祭、守谷城址の認知度は高いが、その他の文化財を知る機会が少ない。	デジタルアーカイブシステムを活用し、歴史・文化資料及び文化財を公開するため、資料選択を行った。 茨城県天心記念五浦美術館において開催された、斎藤隆三氏（1875～1961・本市出身の歴史家）の企画展会期中に、当該美術館学芸員を招き、もりりん中央（中央公民館）を会場に、市民向けのギャラリートークを行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
市内の指定文化財件数（有形）（件）	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	21.00
市内の指定文化財件数（無形）（件）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）							
<div><input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下</div>	指定文化財所有者及び管理者の協力により適切に保存された。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<div><input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持</div>	<div><input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</div>	新たにデジタルミュージアムを構築し、歴史・文化財を知る機会を提供するほか、地域の魅力発見につながる文化財巡りや郷土検定の実施など、子どもから大人まで楽しみながら郷土の歴史・文化に関心を持てるような取組を行う。 令和5年度は、デジタルミュージアムの公開に向けて、作成業務を委託し、コンテンツ収集、埋蔵文化財の撮影等を行う経費が掛かる。（令和6年4月公開予定）					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	709	3,958	639	7,969	5,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	4,816	0
	一般財源	709	3,958	639	3,153	5,000
正職員人工数（時間数）		975.00	811.00	496.00	0.00	0.00
正職員人件費		3,947	3,138	1,913	0	0
トータルコスト		4,656	7,096	2,552	7,969	5,000